

報告事項 イ

令和4年度英語教育実施状況調査結果及び今後の取組について

令和4年度英語教育実施状況調査結果及び今後の取組について、別紙のとおり報告します。

令和5年6月5日

鳥取県教育委員会教育長 足羽英樹

令和4年度英語教育実施状況調査結果及び今後の取組について

令和5年6月5日 小中学校課、高等学校課

令和4年度英語教育実施状況調査の全国の結果が公表されたので、本県の状況を報告します。

○生徒の英語力は、高等学校では昨年度から5%上昇し、国の目指す目標値〔CEFR A2以上（英検準2級など）5割〕を達成する生徒の割合が5割を超えた。中学校においては、国の目指す目標値〔CEFR A1以上（英検3級など）5割〕を達成する生徒の割合が4割に満たなかった。

○英語科の授業づくりの中心となる言語活動の実施状況について、前年度課題があった小学校での状況が大幅に改善された。中学校及び高等学校においては、全国と比べて低い状況にあるが、いずれも着実に上昇している。

【改善へ向けての取組】

⇒中学校の生徒の英語力に課題が見られたことから、外部試験（英検IBA）を活用して、客観的指標を基に、個々の生徒及び学級や学年の英語力の伸びを把握し、データを活用した授業改善ができるようにする。

（※1：小・中学生のための英語教育推進事業）

また、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力及び英語学習への意欲の向上のため、学校内外におけるALT等ネイティブスピーカーと英語によるコミュニケーションをとる場を充実させる。

（※2：ALT等を活用した英語によるコミュニケーション能力向上事業）

⇒小・中・高等学校で一貫して、「言語活動を通して英語力を育成する英語教育」を推進してきたことが、高等学校の生徒の英語力の上昇につながっている。引き続き各学校段階において4技能をバランスよく育成する授業づくりを推進するとともに、今後は、コミュニケーションを行う目的、場面、状況の明確な設定や、中間指導の実施等、言語活動（※3）の質の向上について各種研修会や学校訪問等で周知を図る。

（※1）（※2）の具体については、「3 今後の具体的な取組」に記載

（※3）「言語活動」：学習指導要領に示されている、英語によるコミュニケーションを育成する資質・能力を育成する活動

【英語教育実施状況調査】

文部科学省が、平成25年度より毎年実施している、全国公立小・中・高等学校等における英語教育の状況を把握する調査（R2未実施）

1 概要

(1) 英語担当教師並びに生徒の英語力の状況

調査項目	R4達成度	全国順位	国の目標値	R3達成度	全国順位
R4英語担当教師の英語力の状況（※4）（高等学校）	90.9%	4位	75%	96.0%	2位
R4英語担当教師の英語力の状況（中学校）	33.5%	38位	50%	33.5%	37位
R4生徒の英語力の状況（※5）（高等学校）	50.8%	11位	50%	45.8%	27位
R4生徒の英語力の状況（中学校）	34.6%	46位	50%	40.0%	36位

（※4）教師の英語力の状況：「英語能力に関する外部試験」の結果で、「CEFR B2レベル以上（英検準1級など）」を取得している英語担当教師数の割合

（※5）生徒の英語力の状況：「英語能力に関する外部試験」の結果で、中学校では「CEFR A1レベル以上（英検3級など）」高等学校では「CEFR A2以上（英検準2級など）」を取得している又は相当の英語力を有すると思われる生徒数の割合

(2) 英語教育推進の状況

調査項目	R4達成度（順位）	全国平均	R3達成度	全国平均
授業における言語活動時間（※6）の状況（高等学校）	48.2% (25位)	52.9%	31.6% (45位)	50.3%
授業における言語活動時間の状況（中学校）	67.9% (35位)	74.5%	65.3% (34位)	71.3%
授業における言語活動時間の状況（小学校）	94.2% (12位)	91.9%	75.4% (47位)	92.0%
小中連携の状況	67.9% (28位)	75.5%	58.9% (37位)	72.5%

（※6）授業における言語活動時間の状況：（小）授業において児童が英語で言語活動をしている時間が半分以上と回答した学級の割合（中・高）授業において生徒が英語による言語活動をしている時間が、授業の半分以上と回答した教師数の割合

2 課題と今後の取組

(1) 生徒の英語に関する課題と今後の取組

〈中学校〉

生徒の英語力は近年着実に向上していたが、令和4年度調査においては大幅に下降し4割に満たなかった。国の示す目標への達成割合は、学校ごとで大きく異なっており、実際に外部試験による資格を取得していなくても教師が同等の力を有すると判断した生徒の割合にも、学校ごとの差がみられる。

→日々の指導や評価と併せて、外部試験（英検IBA）等の客観的指標を補完的に活用し、教師が生徒の英語力を適切に見取り、指導に生かすとともに、生徒自身が自分の英語力を客観的に認識し、主体的に学ぶ力を育成する。また、各学校において、ALT等を効果的に活用し日常的に英語に触れる機会を創出している事例を周知する等の取組により、生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成と英語学習への意欲の向上を図る。

〈高等学校〉

生徒の英語力は年々向上し、国の定める目標である5割を超えた。

→教師の英語使用率及び言語活動時間の割合をさらに増やし、「聞くこと」及び「話すこと」の技能の伸長を図り、主体的に学ぶ態度を育成する。

(2) 教師の指導力に関する課題と今後の取組

〈小学校〉

言語活動の実施状況が大幅に改善された。(鳥取県 94.2%、全国平均 91.9%)

→令和3年度本調査の結果(鳥取県 75.4%、全国平均 92.0%)を受けて、言語活動の正確な理解と授業改善のための動画資料を作成・配布するとともに、各種研修や学校訪問等で、Can-Do リスト(※7)と言語活動を中心とした授業づくりについて周知したことが奏功したと考えられる。引き続き、各市町村教育委員会や教育研究団体等と連携しながら、言語活動の充実と指導と評価の一体化を推進する。

〈中学校〉

教師の英語力(鳥取県 33.5%、全国平均 41.6%)が全国平均に比べて低く、授業における教師の英語使用状況(鳥取県 69.6%、全国平均 74.4%)も低い。本県は言語活動を中心として、「使いながら英語を身に付けられる授業づくり」を推進し、実際に各学校では授業改善が進んでおり、相手意識をもって英語でやり取りをする等のコミュニケーション活動がより多く行われるようになってきている。一方で、活動は行うが、英語の正確性や、場面に応じた適切さ等について指導が十分ではないという課題があり、言語活動の質の向上が必要である。

→教師の英語資格・外部検定試験の特別受験制度等の活用を促進するとともに、教師が英語学習者及び英語話者のモデルとなることが、生徒の英語学習への意欲向上や英語力向上につながることにについて周知を図る。

→英語訪問等で英語科教員に直接指導助言を行うとともに、各種研修会等で、Can-Do リストを活用した指導と評価の一体化について周知する。

〈高等学校〉

教師の英語力は全国的に見ても高いが、教師の英語使用状況(鳥取県 32.5%、全国平均 46.1%)及び Can-Do リストの検証(鳥取県 34.8%、全国平均 64.1%)に課題があり、英語によるコミュニケーションに必要な資質・能力の育成を意識した指導が十分ではないことが推察される。

→教育課程研究集会や各種研修会をとおして、教師が英語で授業を行うことの有用性について理解を図るとともに、評価から指導を考える視点や ICT や ALT を活用した言語活動の好事例の普及を図る。

(※7) Can-Do リスト：英語を使って何をすることができるようになるのか領域別(聞く、話す、読む、書く)に示した目標

3 今後の具体的な取組

(1) 小・中学生のための英語教育推進事業(※1)

①外部試験を活用した児童生徒の英語力向上事業

県内全公立中学生と小学6年生(希望者)に外部試験(中：英検 IBA 小：英検 ESG)を実施

②外部試験を活用した英語科教員の授業力・指導力改善事業

外部試験の結果を分析・活用する研修会等を実施し、授業改善の推進を支援

(2) ALT 等を活用した英語によるコミュニケーション能力向上事業(※2)〔令和5年度6月補正予算で要求〕

①ALT と学ぼうコミュニケーション事業【小中学生】

ALT を活用し、日常から英語に触れる機会を創出している事例(パフォーマンステストや異文化理解等)の教材を作成し周知・展開

②小学生のための1DAY イングリッシュ【小学生】

小学生が、ALT 等ネイティブスピーカーと様々な活動を通して英語に親しむイベントを開催(7・8月)

[3、4年生対象：親子でイングリッシュ DAY 5、6年生対象：新しい友達とイングリッシュ DAY]

③ネイティブスピーカーと過ごす中高生合同の英語での発信力養成キャンプ【中高校生】

中学生及び高校生のための、ALT 等ネイティブスピーカーによる3日間にわたる目的別のスピーキング講座を開催(8月)

④ネイティブスピーカーとのオンラインスピーキング【中学生】

中学生の英語を話す力を伸ばすために外国人講師とのオンライン英会話レッスンを導入する市町に、受講料を支援

⑤高校生海外交流促進事業【高校生】

高校生の海外派遣等を支援

[江原道青少年国際フォーラム・鳥取県英語弁論大会(優秀者をニュージーランド派遣)・クライストチャーチ架け橋プロジェクト]